

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア認定薬剤師研修会

『 にも包括と新しい地域医療構想について 』

(2026年 7月 12日 日曜日【午前】)ハイブリッド開催案内

【一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会は日本医学会の第109分科会です。そして、プライマリ・ケア認定薬剤師制度は公益社団法人薬剤師認定制度認証機構(CPC)から「特定領域」の認定制度としての認証(認証番号P02)を取得しております。】

・地域包括ケアシステムにおける薬剤師の役割

～精神疾患にも対応する地域包括ケアシステムを含む～

医療介護連携が最重要課題となる地域医療において、精神疾患対応にも対応する地域包括ケアシステム(にも包括)における薬局・薬剤師の役割を学ぶ。講義や実際の症例に基づき自分たちの役割を考えるディスカッションを行う。

・これからどうなる日本の地域医療～2040年を目途とした新しい地域医療構想とは～

限りある医療資源を最適化・効率化しながら、「治す医療」と「治し支える医療」を担う医療機関の役割分担を明確化し、地域完結型の医療・介護連携体制を構築することを目的としている。その中で薬局や薬剤師がどのような役割を果たすべきかを講義とディスカッションを通して考える。今回は、本研修は、ハイブリッド研修会となります。ZOOMを使ってオンラインで研修会に参加するには、一人一台のインターネットに接続可能なPC(カメラとマイク付き)、またはタブレットが必要となります。スマートフォンでの参加はご遠慮願います。本研修は、受講者の理解度向上および双方向性を確保するため、安全かつ集中できる環境での受講を必須とします。

(細則による必須領域：A.G.J)

要 項		
1	主 催	一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会 薬剤師部会研修担当
2	研修期間	2025年7月12日(日)【午前】9:20～12:30
3	研修会場	現地会場：アーバンネット神田カンファレンス 〒101-0047 東京都千代田区内神田3丁目6-2 アーバンネット神田ビル オンライン会場：ZOOM ハイブリッドでの研修会になります。Zoomを利用したオンラインでご参加の方はお申し込みで入力したメールアドレスに配信URLを送付いたしますので、開始時間になりましたら、そのURLをクリックして研修会にご参加下さい。研修会終了後、グーグルフォームへのアンケートに当日中にご回答下さい。
4	認定単位	薬剤師:2単位(認定薬剤師単位)、医師:3単位(更新のための単位)
5	受講資格	薬剤師、医師、歯科医師、看護師、医療職、医療関係者
6	定員	80名 スモールグループ形式/ブレイクアウトルーム使用
7	受講申込	締め切り:2026年6月26日(金) ホームページからの申込による先着順となり、定員になり次第締め切ります。 電話、ファクシミリ、メールによる申込は受付けておりません。
8	受講振込	申込書を受信後、順次ご入金方法についてご案内させていただきます。 ※ 指定期日にお振込みの確認ができない方は、キャンセル扱いとなりますのでご留意願います。
9	受講料	5,500円 但し、日本プライマリ・ケア連合学会会員は4,000円 ※ 受講料入金後のキャンセル又は欠席の場合、原則として受講料の返金はできません。

お問い合わせ：日本プライマリ・ケア連合学会事務局担当係プライマリ・ケア認定薬剤師研修会事務局
〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀1-4-8 日栄ビル703A 有限会社あゆみコーポレーション内

TEL:06-6449-7760 FAX:06-6441-2055 ipca@a-youme.jp

プログラム

2026年7月12日（日曜日）

9:20～12:30 (休憩10分を含む)	<p>にも包括と新しい地域医療構想について</p> <p style="text-align: right;">講師:石橋 幸滋</p> <p>・地域包括ケアシステムにおける薬剤師の役割 ～精神疾患にも対応する地域包括ケアシステムを含む～</p> <p>医療介護の連携はこれからの地域医療における最重要課題と言っても過言ではない。この研修会では、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく人生の最期まで暮らせるよう、地域の医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に連携・提供される体制いわゆる地域包括ケアシステムにおける薬局、薬剤師の役割に関する講義と、実際の症例に基づき自分たちの役割を考えるディスカッションを行う。</p> <p>これからどうなる日本の地域医療 ～2040年を目途とした新しい地域医療構想とは～</p> <p>新しい地域医療構想とは、地域医療計画の上位概念として、各都道府県が定める「地域医療構想」の実現を目指し、地域の医療機関や関係者が協議を行う場である。主な役割は、将来の医療ニーズに対する「病床数や外来医師数、専門医の必要量」や「各医療機関の役割・機能（高度急性期・急性期・回復期・慢性期）」について合意形成を図り、限りある医療資源を最適化・効率化しながら、「治す医療」と「治し支える医療」を担う医療機関の役割分担を明確化し、地域完結型の医療・介護連携体制を構築することを目的としている。その中で薬局や薬剤師がどのような役割を果たすべきかを講義とディスカッションを通して考える。</p> <p>(細則による必須領域 A.G.J)</p>
--------------------------	---

20分以上の遅刻・早退は原則単位になりませんのでご注意ください。

【講師紹介】

氏名：石橋 幸滋（医師）

所属：石橋クリニック